

# 津市GIGAスクール構想の実現

①

学校教育は、Society5.0を見据えて、学習指導要領に基づき、**持続可能な社会の創り手**を確実に育成していくことが必要

## 育成すべき資質・能力

- 単なる暗記的な知識にとどまらない、①生きて働く知識・技能、②未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等、③学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等をバランスよく育成
- その際、学習の基盤となる資質・能力（言語能力、問題発見・解決能力と同様に、情報活用能力が位置付けられている）や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を含めて育成

## 教育の内容

- 各教科等においてSociety5.0に求められる資質・能力を体系的に育成  
(例)・国語科等における読解力の育成  
・情報教育・プログラミング教育の充実
- 総合的な学習の時間等において、各教科での学習を実社会で課題解決に生かしていくための教科横断的な教育（いわゆる「STEAM教育」など）を充実

## 指導の方法

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を推進し、育成すべき資質・能力を一体的に育成  
※「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」は相互に関連し合い、一体となって働くことが重要
- こうした授業改善に資するよう、児童生徒一人一人の理解度や興味・関心、性格などを考慮した指導（個に応じた指導）を充実

## 環境整備

- EdTech等の積極的な活用とICT環境整備の促進
- 教師の指導力向上と外部人材等との積極的な連携

# 津市GIGAスクール構想の実現

②

## 目標

コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用できる環境を整備し、情報活用能力を、言語能力、問題発見・解決能力等と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけ、多様な津市の子どもたち一人一人に応じた個別最適化学習を実現させ、新たな時代を担う人材を育成する。

## 市立小・中・義務教育学校のすべての児童生徒に一人一台端末を整備

- 学校における高速ネットワーク環境(校内LAN)の整備<令和2年度中>
  - 全小・中・義務教育学校(69校)の普通教室、特別教室及び体育館に高速ネットワークの整備
  - 一人一台端末を収納する電源キャビネットの設置
- 小学1年生から中学3年生までの児童生徒一人一台端末を前倒しで整備<令和5年度までに整備→令和2年度中に>
  - 市内小中学校全児童生徒に対し、一人一台端末を整備(小学校13, 902台、中学校6, 556台)
  - 指導者用端末を各学級に一台整備(769台)

### 1 一斉学習 ～双方向型一斉授業の実現～

- ◎定理や史実等をデジタル教材で可視化・共有化、及び授業中に一人一人の反応や考えを把握  
<具体例> ○指導者用デジタル教科書(小学校5・6年生国語と英語、中学校全学年国語と英語)を活用する。  
○指導者用端末で撮影した写真や動画、NHK for Schoolの活用、教科書のQRコードを活用する。  
○文章作成ソフト等の機能を活用し、文章の推敲やデータの共有を行う。



### 2 個別学習 ～ニーズや学習状況に応じた個別学習の実現～

- ◎同時に別々の内容の学習を行い、各人の学習履歴を記録(学習進捗状況の可視化)  
<具体例> ○「津市e-Learningポータル」を活用して、一人一人のニーズや習熟の程度等に応じた指導をする。  
○インターネットを用いた情報収集、写真や動画等を活用した取組ができるように指導する。  
○シミュレーション等のデジタル教材を活用した授業を展開する。



### 3 協働学習 ～各自の考え等を共有しながら学び合う授業の実現～

- ◎子どもたち同士の意見交換、発表等を通じ互いに高め合う学習  
<具体例> ○グループ内での複数の意見や考えを共有し、協働して意見を整理する取組を授業に組み入れる。  
○写真・動画等を用いた資料や作品をグループで分担したり、共同制作をしたりする学習を行う。  
○インターネットを活用して、遠隔地や海外の学校、学校外の専門家との意見交換や情報発信を行う。



# 津市GIGAスクール構想の実現

③

『1人1台端末・高速通信環境』がもたらす学びの変容イメージ

【今までの授業】

【これからの授業】

## 1 一斉学習 ～双方向型一斉授業の実現～

教師が黒板等を用いて説明し、子どもたちの興味・関心・意欲を高めることはできる。

深化

子どもたち一人一人の反応を踏まえたきめ細かな指導等、双方向型の授業展開が可能になる。



## 2 個別学習 ～ニーズや学習状況に応じた個別学習の実現～

同時に同じ内容の学習をする授業を行う。  
・一人一人の理解度等に応じた学習が困難である。

転換

一人一人の教育的ニーズ・理解度に応じた個別学習や個に応じた指導が可能になる。



## 3 協働学習 ～各自の考え等を共有しながら学び合う授業の実現～

グループ発表をさせることは可能であるが一人一人の意見を発信・共有するような授業展開が難しい。

転換

全ての子どもが、情報の編集を経験しつつ、多様な意見を即時に共有し、共同編集ができる。



# 津市GIGAスクール構想の実現

④

**工夫次第で、  
学びの可能性は無限大に！！**

### ステップ3

★教科の学びをつなぐ  
★社会課題の解決、一人一人の夢の実現に活かす

### ステップ2

★教科の学びを深める  
★教科の学びの本質に迫る

### ステップ1

★すぐにでも どの教科でも  
★誰でも 活かせる 1人1台端末



学習事例

- ・情報を検索し、新聞記事や動画等を収集・整理する。(QRコード等の活用)
- ・アクセスした情報の真偽を確認・判断する。
- ・自分自身の考えをまとめたものを共有しながら学び合う。
- ・イメージを持ちやすいデジタル教材を提示する。

- ・文章作成ソフトで文章を書き、コメント機能等を用いて助言し合う。
- ・分析した情報を、プレゼンソフトで加工して発表し合う。
- ・プログラミングを通して正多角形の作図を行う。
- ・海外等の学校と交流する。

- ・設定した課題に対して、ICTを含む様々なツールを駆使して、情報収集、整理・分析、まとめ・表現を行うなど、教科横断的な学習を行う。

## 1人1台端末活用に向けての研修計画(令和2年度)

### 【目標】

1人1台端末を全ての教員が教科の学習等に効果的に活用することができる。

### ステップ1



### ステップ2



### ステップ3



#### 【令和2年度 特化研究プロジェクト】

ステップ1・2の内容について先行研究(明小、栗葉小、美杉小、西橋内中)

#### 【情報教育推進研修会】<令和2. 8~9>

- ①集合研修×3会場 校長+情報教育推進担当
- ②オンライン研修 全教員

#### 【端末活用研修会①】(OJT研修)

<令和2. 10~令和3. 3>

- 端末の基本操作
- 授業での具体的な活用

#### 【端末活用研修会②】(OJT研修)

<令和2. 10~令和3. 3>

- アプリの効果的な活用
- 家庭学習との連動
- 情報モラルについての知識・理解

#### 【端末活用研修会③】(OJT研修)

<令和3. 2~3>



#### 【授業での実践】

<令和3年度>

研修内容

## 本市における教職員のICT活用指導力の実態

対象者数: 津市小中学校教職員1,288人

【約9割の教職員が肯定的な回答】

内容	できる・ややできる	あまりできない・ほとんどできない
児童生徒の興味・関心を高めたり、課題を明確につかませたり、学習内容を的確にまとめさせたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。	89.8%	10.2%
学習活動に必要な、コンピュータなどの基本的な操作技能(文字入力やファイル操作など)を児童生徒が身に付けることができるように指導する。	87.0%	13.0%
グループで話し合ったり考えをまとめたり、協働してレポート・資料・作品などを制作したりするなどの学習の際に、コンピュータやソフトウェアなどを効果的に活用させる。	74.6%	25.4%
児童生徒が互いの考えを交換し共有して話し合いなどができるように、コンピュータやソフトウェアなどを活用することを指導する。	73.8%	26.2%

(具体例)

- ・書画カメラや大型テレビ等を活用し、資料などを効果的に提示することができる。
- ・コンピュータなどの基本的な操作技能(文字入力、ファイル操作等)について指導することができる。

【約1/4の教職員が否定的な回答】

(具体例)

- ・コンピュータの文章作成ソフトやプレゼンソフト等を活用し、子どもたちの意見等を共有させたり、コメント機能等を用いて助言し合ったりさせる。
- ・観察、実験等を動画等で記録し、分析・考察した結果を、子どもたちが主体的にプレゼンテーション等を行うことができるようになるための指導ができる。
- ・各自で収集したデータを、プレゼンソフトで加工し、共同編集させる。

# 津市GIGAスクール構想の実現

⑦

## 研修が必要となる内容

### ステップ1

- 「津市GIGAスクール構想」のめざすところの理解
- ICT機器の効果的な利用方法や使用上の注意事項等

### ステップ2

- 端末の基本操作
  - ・カメラや動画機能
  - ・大型テレビへの投影方法
  - ・ネットワークへの接続方法
- 授業での具体的な活用
  - ・情報を検索、新聞記事や動画等を収集・整理し、それらを活用した指導（QRコード等の効果的な活用）
  - ・プレゼン、スライドショーの作成、活用の仕方
  - ・児童生徒とのデータのやり取り（双方向型学習）

### ステップ3

- アプリの効果的な活用
  - ・プログラミングを通して作図
  - ・文章作成ソフトの活用（コメント機能等の活用）
  - ・海外等の学校との交流の仕方
- 家庭学習との連動
  - 「津市e-Learningポータル」等
- 情報モラルについての知識・理解

### ステップ4

- 令和3年度ICTを活用した教育について
  - ・ICT活用計画作成・確認
  - ・校内において全教職員に周知

## 教員研修

## 時期

### 【情報教育推進研修会】(三重県教育委員会)

- ①集合研修×3会場 校長+情報教育推進担当
- ②オンライン研修 全教員

令和2年8月  
～9月

### 【端末活用研修会①】

- ①各学校（小規模校は合同）研修×50会場

- ②各学校OJT研修

+

チャットシステム活用

※研修会後に質問等があった場合、チャットによりやり取りを行うことができる。

令和2年10月  
～令和3年1月

### 【端末活用研修会②】

- ①各学校（小規模校は合同）研修×50会場

- ②各学校OJT研修

+

チャットシステム活用

※研修会後に質問等があった場合、チャットによりやり取りを行うことができる。

### 【端末活用研修会③】

- ステップ1・2・3の定着状況確認
- 令和3年度4月からの活用計画確認

令和3年2月  
～3月

# 津市GIGAスクール構想の実現

⑧

## 無線LAN構築スケジュール

## 1人1台端末導入スケジュール

令和2年3月23日

3月議会 令和元年度一般会計補正予算(第11号)議決

小学校、中学校、義務教育学校における児童生徒1人1台端末の導入に向けた校内通信ネットワークの整備

5億9,855万円

令和2年7月2日

6月議会 令和2年度一般会計補正予算(第4号)議決

小学校、中学校、義務教育学校における児童生徒1人1台端末及び指導用端末の購入

10億9,518万円

GIGAスクール無線LAN環境整備業務委託

GIGAスクール無線LAN配線及び関係機器設置等業務委託

学校教育用パソコン(小学校・タブレット端末)の購入

iPad OS 児童用 13,902台  
指導用 591台

学校教育用パソコン(中学校・タブレット端末)の購入

Windows OS 生徒用 6,556台  
指導用 178台

7月13日

見積徴取

7月29日

入札

8月17日

入札

7月17日

契約

2億306万円

7月31日

契約

1億9,175万900円

8月18日

仮契約

10月1日

本契約

令和2年8月1日～  
令和3年3月31日

無線LAN配線及び関係機器設置の整備

令和2年10月1日～  
令和3年3月31日

無線LANネットワーク整備後、順次、納入開始